

家族でニコニコチャレンジ②取り組みの様子



令和2年11月～12月実施

基本的な生活習慣の確立と自立心の育成をめざして！

「家族でニコニコチャレンジ」の第2回目の取り組みについて、ご報告をいただきました。

2回目は就学時健診の時期とも重なり、就学を見据えて基本的な生活習慣を家族みんなで見直す取り組みが見られました。今回も家族チャレンジャーと一緒に取り組んでいただきました。親子で一緒の目標だったり別々の目標だったり取り組み方は様々でしたが、親子で一緒に取り組むことで子どもは最後まで取り組むことができ、達成感を味わえたようです。また、園でも友達とニコニコチャレンジについての会話があり、みんなで一緒に頑張っていることで意識が高まったようです。

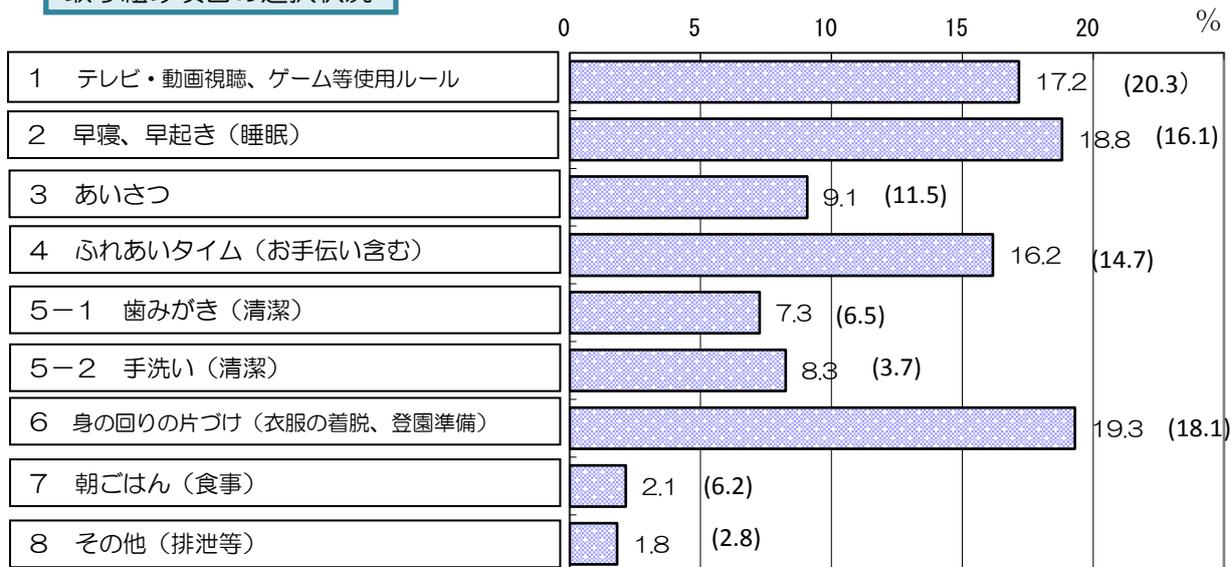
<取り組み状況>

集計協力園／年長児在園 42園／45園

回収率…93.3%（報告園の提出者数／報告園での配布者数）

（ ）内は、前回の取り組み状況

取り組み項目の選択状況



家族チャレンジャーの取り組み状況

※ 複数回答含む

家族チャレンジャーとして取り組んだ方の内訳

父	母	兄	姉	弟	妹	祖父	祖母	その他
79人	402人	22人	21人	4人	8人	1人	3人	5人

※家族全員で取り組んだ家庭もありました

家族チャレンジャーの取り組み項目の選択状況 ※5歳児の項目と同じ

取組項目番号	1	2	3	4	5-1	5-2	6	7	8
人数（人）	71	101	62	239	26	37	44	4	9
割合（%）	12.0	17.0	10.5	40.3	4.4	6.2	7.4	0.7	1.5

「子どもの様子に関わる感想」

保護者からの感想等

子どもたちが話してくれたことを質問で返してみると、よく考えて答えてくれる様子が見られ、親も子ども今日あったことを報告し合うようになった。

子どもから「何をお手伝いしたらいい？」と聞く姿を見て、積極的に行動できるようになったと実感した。

「小学生になるんだ！」と口にするのが増え、進んで取り組むことができた。

(お手伝いに取り組んだ子どもについて)自分に役割があって、嬉しく感じているようだった。

取組を意識して頑張っていた。「できる」感覚を持ち、自信がついたようで「これからも続けたい」と話していた。

「家族の関わり方に関わる感想」

「早く！！」の声掛けが多かったが、「一緒にしよう」と言葉を変え、一緒に進めることで「早く！！」と口にするよりも早く行動に移せるのを感じた。

(子どもと一緒にお手伝いにチャレンジした父から奥様に対して)

普段やらない食器洗いをしてみて、「仕事をした他に家の事もやってもらっているんだ」と実感した。これからも手伝えることはやりたいです。

できたことを褒めるとどんどんやる気が出てきた。

ニコニコチャレンジがないと子どもとのコミュニケーションをとる大切さに気付かなかったので、今回取り組めてよかった。

「親の背中を見て育つ」という事を頭に入れながら接するようになった。

園からの感想等

「親子で取り組むことの効果等に関わる感想」

取組によって保護者の意識に変化が見られ、生活習慣の見直しにとっても効果的であった。また、真剣に取り組んでいただいております、子どもの楽しむ様子が伝わってきた。

「園での子どもたちの様子に関わる感想」

「私は〇〇にしたよ」等、目標を友達同士で話題にする姿があった。自分たちで生活に見通しを持って行動しようとする年長児後半の姿に合った取り組みだと感じた。

今回の取り組み結果と次年度の取り組みに向け

☆ 今年度の取り組み結果 …各園の報告から… ☆

- 子ども自身が目標を意識して取り組む姿が親にいい影響を与えている様子もあり、「子どもが親を変える」例が少なくないと感じた。親子で成長していく様子を垣間見ることができた。
- 2回目は就学を意識した項目を選ぶ子が多く、家族で就学に向けて生活習慣を見直す機会となっていた。
- 取組について園でも話題にすることで子どもたち同士の情報交換の場となり、意欲の持続や高まりにつながっている。
- ふれあいタイムの取組から親子で会話を楽しんだり絵本の読み聞かせを楽しんだりすることで、動画視聴等の時間を短くすることができたり、早寝・早起きにつながったりしている様子があった。
- チャレンジを行ってみると「やってよかった」「今後も続けていく」という感想が多く、家族と一緒に取り組むことが基本的な生活習慣の確立につながっていくと思うので、来年度も親子での取組を継続してほしい。

☆ 次年度の取組に向けて ☆

- 一人一人の子どもの実態に応じた目標を設定していくことを大切にしつつ、花巻市教育委員会のおすすめ項目も設定し、基本的な生活習慣の定着を図る取組を促していく。
- 基本的な生活習慣を身に付けることの大切さを園と協力しながら発信し、今年度と同じく「家族で」一緒に取り組めるようにしていく。